

港湾振興便り



2018. 5

第132号

* : * :

目 次

* : * :

1 ポートエッセイ — 一読お勧め、「港の日本史」 —

～日本港湾振興団体連合会会長(新潟市長) 篠田 昭～

2 トピック

- 北海道国際流通機構が発足から1周年を迎えました

(北海道国際流通機構)

- 「青森港新中央ふ頭大型客船ターミナル完成式」を開催しました

(東北地方整備局 青森港湾事務所)

- 「釜石港湾口防波堤完成式」を開催しました

(東北地方整備局 釜石港湾事務所)

- 秋田港クルーズターミナル供用開始記念式典、クルーズ列車運行開始記念出発式が開催されました ～進化！秋田港クルーズ振興～

(東北地方整備局 秋田港湾事務所)

- 酒田港高砂ふ頭に管理上屋が竣工

(山形県県土整備部港湾事務所)

- 相馬港沖防波堤災害復旧事業完了に伴う銘板除幕式を開催

(東北地方整備局 小名浜港湾事務所)

- 「クルーズスタイル2018横浜」が開催されました

(関東地方整備局 港湾空港部)

- 海王丸パークに新たな観光スポットが完成しました！

(北陸地方整備局 伏木富山港湾事務所)

- 大型クルーズ客船を海から見よう！

(北陸地方整備局 敦賀港湾事務所)

- 金沢港でコンテナ上屋起工式及びガントリークレーン完成式を開催！

(石川県 土木部 港湾課)

●「京都舞鶴港 舞鶴国際ふ頭 機能強化事業 完成記念式典」開催

(近畿地方整備局 舞鶴港湾事務所)

●「みなとオアシス知夫里島」が新たに登録されました

(中国地方整備局 境港湾・空港整備事務所)

●ゴミ・油回収合同訓練の実施

(四国地方整備局 小松島港湾・空港整備事務所)

●平成29年度手づくり郷土賞の大賞部門を

特定非営利活動法人アクア・チッタと徳島県が受賞

(四国地方整備局 小松島港湾・空港整備事務所)

●徳島小松島港に「マジェスティック・プリンセス」が初寄港

(四国地方整備局 小松島港湾・空港整備事務所)

●下関港新港地区係留施設延伸工事完成報告会を開催しました

(九州地方整備局 下関港湾事務所)

●「石垣港新港地区旅客船ターミナル暫定供用」

(内閣府沖縄総合事務局 石垣港湾事務所)

●「漲水地区複合一貫輸送ターミナル」にクルーズ船初寄港

(内閣府沖縄総合事務局 平良港湾事務所)

3 お知らせ

◇第23回うまいカ 干しイカ イカまつり

◇温海モリウミ体験フェス2018

◇小松島港まつり

*:

1 ポートエッセイ — 一読お勧め、「港の日本史」 —

～日本港湾振興団体連合会会長(新潟市長) 篠田 昭～

*:

以前、国土交通省北陸地方整備局などに勤務され、現在は同省国土技術政策総合研究所の沿岸海洋・防災研究部長を務められている吉田秀樹さんから、ご著書「港の日本史」(祥伝社新書)を贈っていただいた。明治維新150年に当たる今年、日本の近代化の中で港の果たした役割を分かりやすく紹介している内容なので、皆さんにも一読をお勧めしたい。

「港の日本史」は吉田秀樹さんと、港や日本史に詳しい「歴史とみなと研究会」のメンバーの共著の形を取っている。今年は神戸港が開港150年を迎え、1年遅れで新潟港も来年1月1日に開港150周年となるので、まさに時宜を得た出版と言えよう。港とまちづくりを考える上で大変に貴重な資料でもある。

吉田さんらは「みなと」を人と物の結節点と位置づけ、その歴史を縄文時代の船着場から解き明かしている。「みなと」は古来、「水門」や「津」、「浦」、「泊」などとも表記され、次第に「湊」となり、ついには水を意味する「さんずい」と、人が集まる場所やまちなかの意である「巷」からなる「港」になったのだそうだ。江戸時代には「東廻り航路」と「西廻り航路」が開発され、弁財船が物流の担い手として活躍し、大阪や瀬戸内の商人たちは日本海を航行した弁財船などの廻船を「北前船」と呼んだ。

幕末には欧米諸国が日本に開国を迫った。中でもアメリカが1854年に「日米和親条約」を結び、箱館(函館)と下田の2港を開くことを約束する。後にイギリス、フランス、ロシア、オランダが加わった「安政の5カ国条約」(1858年)で箱館に加え、神奈川(横浜)、新潟、兵庫(神戸)、長崎の港を開き下田は閉港することで合意し、日本は国際社会の仲間入りをすることになった。

その後、お雇い外国人らが西洋科学技術を日本に植え付けることになるが、ここでも港の果たした役割は大きかった。明治以降も「殖産興業」で港はさらに大きな力を発揮していくことなどを「港の日本史」では詳述している。まさに「海洋国家・日本を深く知るヒント」がたっぶりの著書となっている。

*:

2 トピック

*:

●北海道国際流通機構が発足から1周年を迎えました。

(北海道国際流通機構)

平成30年4月3日、北海道国際流通機構が発足から1周年を迎えました。

北海道国際流通機構は、商品の購入、混載輸出及び、海外販売迄を行う社団法人であり、①自分たちの子どもが「北海道に残りたい」と思う環境を創り、北海道への想いを次世代へ“つなぐ”。②北海道と海外を“つなぐ”ことで、海外における新たなマーケットを創出。の2つを経営理念に事業を進めてきました。

平成29年度は、北海道開発局と連携協定を結び、網走、函館等、みなとオアシスや道の駅の設置者・管理者と協力し、道産土産の国外への宅配を簡単に実現する「海外お土産宅配便」の導入店舗の拡大に向けた実験を行いました。また、苫小牧港管理組合とも連携し、苫小牧港からの小口混載コンテナ便による海外輸出(台湾・香港)～販売までの実証実験を行いました。

現在、この2つの実験の結果検証を行っています。

平成30年度は、小口混載コンテナ便の実証実験を韓国向けに実施予定であり、引き続き、道産品輸出を推進して参ります。



北海道開発局との連携協定締結の様子
(平成29年6月16日)



小口混載輸出の説明会の様
(平成29年10月23日)

●青森港新中央ふ頭大型客船ターミナル完成式を開催しました

(東北地方整備局 青森港湾事務所)

平成30年4月28日(土)、青森港新中央ふ頭で岸壁延伸事業が完了したことに伴い、関係者約50名が出席し完成を祝いました。

本事業により岸壁が280mから360mに延伸されるとともに防舷材19基の更新と係船柱2基が新設され、これまで9万トン級までのクルーズ客船が着岸していた岸壁に13万トン級の大型クルーズ客船が着岸可能となりました。

完成式は、クルーズ客船「セレブリティ・ミレニアム」の寄港に合わせ、主催者の浅輪国土交通省大臣官房技術参事官や三村青森県知事、小野寺青森市長の挨拶の後、来賓の津島淳衆議院議員、高橋千鶴子衆議院議員、田名部匡代参議院議員、若井青森商工会議所会頭からご祝辞を頂き、当事務所の前田所長が事業概要説明を行いました。

テープカットでは、お祝いの倭武多囃子^{ねぶた}が演奏されたほか、セレブリティ・ミレニウムと青森県・青森市との記念品交換が行われました。テープカット後には、クルーズ船の乗船客をおもてなしする地元の高校生などとフォトセッションを行いました。

青森港では、「年間クルーズ客船100隻、クルーズ旅客数10万人」の目標を掲げています。実現に向け、地域と一丸となって取り組んでいきたいと考えています。



▲津島 衆議院議員



▲高橋 衆議院議員



▲田名部 参議院議員



▲若井 青森商工会議所会頭



▲三村 青森県知事



▲小野寺 青森市長



▲浅輪 大臣官房技術参事官



▲テープカットの様子



▲フォトセッション

●「釜石港湾口防波堤完成式」を開催しました

(東北地方整備局 釜石港湾事務所)

平成30年4月30日（月）、岩手県釜石市の市民ホール「TETTO」において、釜石港湾口防波堤完成式を開催しました。

本防波堤は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災の津波により大きな被災を受けましたが、災害復旧事業を平成24年2月に着手し、平成30年3月に完成しました。

本防波堤が完成したことで、津波防護はもとより港内の静穏が震災前の水準まで回復し、安全に港湾を利用できるようになりました。また、釜石を結節点とする復興道路・復興支援道路の整備が進んだことで、三陸沿岸地域の復興と活性化が期待されています。

式では高橋国土交通大臣政務官、達増岩手県知事、野田釜石市長の主催者挨拶に続き、長坂復興大臣政務官、鈴木五輪担当大臣、平野参議院議員からご祝辞を頂き、セレモニーでは釜石港湾口防波堤の懸垂幕の前でテープカットが行われました。



高橋政務官挨拶



達増知事挨拶



野田市長挨拶



長坂復興大臣政務官祝辞



鈴木五輪担当大臣祝辞



平野参議院議員祝辞



「テープカット」の様子

●秋田港クルーズターミナル供用開始記念式典、クルーズ列車運行開始記念出発式が開催されました ～進化！秋田港クルーズ振興～

(東北地方整備局 秋田港湾事務所)

平成30年4月18日(水)、秋田港で大型の外航クルーズ船ダイヤモンド・プリンセス号の寄港に合わせ、秋田県主催のクルーズターミナル供用開始記念式典とJR東日本主催のクルーズ列車運行開始記念出発式が開催されました。

クルーズターミナル供用開始記念式典では佐竹秋田県知事からの挨拶があり、なまはげによる太鼓などで乗客を迎え、クルーズターミナル内での物産展では大いに賑わいました。

秋田港駅ではクルーズ列車運行開始記念出発式が行われ、菊地JR東日本秋田支社長らからの挨拶があり、竿燈などが披露されました。クルーズ船の乗客は、秋田港駅より全国初のクルーズ船乗客専用列車「あきたクルーズ号」に乗り、秋田県内の観光名所に向けて出発しました。クルーズ列車は今後もクルーズ船の寄港に合わせて運行されます。



クルーズターミナル周辺の様子



式典でのくす玉開披の様子



出発式でのテープカットの様子



クルーズ列車出発の様子

●酒田港高砂ふ頭に管理上屋が竣工

(山形県県土整備部港湾事務所)

山形県酒田港における近年の国際コンテナ貨物量の増加に対応するため、酒田港国際ターミナルの荷さばき機能の効率化を図る管理上屋（管理棟、トラックゲート）が、平成30年3月に竣工しました。これによりコンテナ貨物の管理、コンテナ車両の安全確認等、一層効率的な荷役業務ができるようになりました。



管理上屋



テープカットの様子

●相馬港沖防波堤災害復旧事業完了に伴う銘板除幕式を開催

(東北地方整備局 小名浜港湾事務所)

平成30年4月21日(土)、立谷相馬市長、加藤新地町長をはじめとする地元関係者ご列席のもと、相馬市伝承鎮魂祈念館前において「相馬港沖防波堤」災害復旧事業完了に伴う銘板除幕式を執り行いました。

この銘板は、東日本大震災により甚大な被害を受けた沖防波堤の災害復旧事業を後世に伝えるとともに、相馬港の更なる飛躍を祈念して設置されたものです。

除幕にあたり、立谷相馬市長から「記念碑は、熱い気持ちで沖防波堤の復旧という難局と戦っていただいた関係者皆様の将来にわたっての誇りとしていただきたい」とのご挨拶があり、関係者一同、相馬港の更なる飛躍に向けて心をつにしていました。



【立谷相馬市長 挨拶】



【銘板「除幕式」の様子】



【完成した沖防波堤をバックにした「銘板除幕式」出席者集合写真】

●「クルーズスタイル2018横浜」が開催されました

(関東地方整備局 港湾空港部)

平成30年4月14日(土)と15日(日)の2日間、横浜港大さん橋ホールにて国内最大級の船旅イベント「クルーズスタイル2018横浜」が開催されました。(同イベントは、横浜港での開催は初めて。)

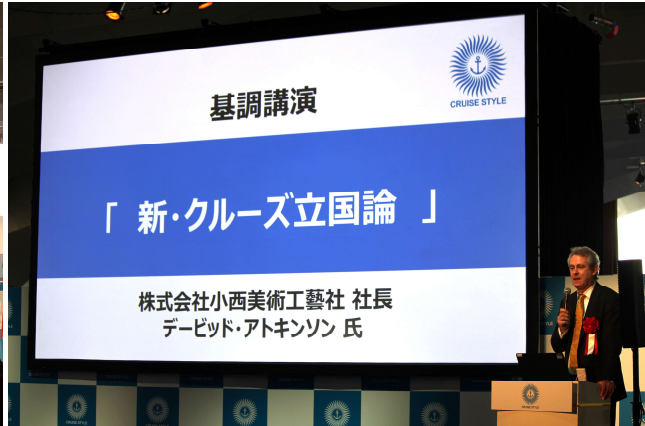
「クルーズスタイル」とは、クルーズ振興を通して日本を活性化すること目的に、「クルーズ」が持つさまざまな旅の魅力を提案するとともに、国内外のクルーズ船や寄港地情報を発信し、客船を利用する観光客の増加、客船が寄港する港の発展に寄与する活動を行うものです。

ステージでは、平原敏英横浜市副市長らによるテープカットが行われたほか、「新・観光立国論」の著者であるデービッド・アトキンソン氏やクルーズライターによる講演会なども開かれました。また会場内には、国内外のクルーズ船運航会社やクルーズ旅行プランを販売する旅行会社がブースを出展。さらに、開催地横浜の観光情報、クルーズ船が寄港する日本全国の港の情報をパネルや資料で紹介するブースも設営されました。両日とも大さん橋にはクルーズ船「セレブレティ・ミレニアム」が寄港しており、クルーズスタイルの会場を大いに盛り上げました。

(来場者数36,993名(主催者発表))



オープニングセレモニーでのテープカット



デービッド・アトキンソン氏による講演



会場の様子(入口)



会場の様子(場内)

●海王丸パークに新たな観光スポットが完成しました！

(北陸地方整備局 伏木富山港湾事務所)

平成30年4月11日(水)、海王丸パーク(富山県射水市)において「富山新港開港50周年海王丸パーク展望広場供用式典」が行われました。

本展望広場は、4月21日で富山新港が開港50周年を迎えることにあわせ富山県が整備し、広場面積は260㎡、標高は13.2m(いみず)、収容人数は50人となっています。広場には対岸諸国や立山連峰などの音声案内を多言語で聞くことが出来るゼンマイ式望遠鏡が2基のほか、ベンチや案内看板が設けられています。

式典では、石井隆一富山県知事が「北陸を代表する観光スポットになりつつある海王丸パークに、ますますの賑わい創出をしてほしいとの要望があり整備した。あと10日で新港開港50年

の日を迎える。県としても盛り上げていきたい。」とあいさつしました。高野行雄富山県議会議員、富山県セーリング連盟会長の四方正治富山県議会議員が祝辞を述べ、磯部賢射水市副市長からは「この展望台からたくさんの船の入出港が見える楽しさ、外国船との出会いが子供たちにとって外の大きな世界を知るきっかけになれば」と、夏野元志射水市長の祝辞の代読がありました。

式典には約50人が出席し、立山連峰、新湊大橋、帆船海王丸などを一望出来る新たな観光スポットの供用を祝いました。



石井富山県知事の式辞



磯部副市長の祝辞



式典の記念撮影



展望広場からの景観

●大型クルーズ客船を海から見よう！

(北陸地方整備局 敦賀港湾事務所)

平成30年4月17日（火）敦賀市と北陸地方整備局敦賀港湾事務所は、大型クルーズ客船「ダイヤモンド・プリンセス」の寄港に合わせて、海上からクルーズ船を眺める見学会を開催し、79名の参加者に敦賀港湾事務所所有「まつかぜ」に乗船し、海上から巨大客船の大きさを実感してもらいました。

船内では、普段見られない海上からの迫力ある姿に歓声があがり、写真撮影などで大忙しでしたが、敦賀港の役割に関する説明にも耳を傾けて頂きました。参加者からは「クルーズ船は本当に大きい。近くで見られて良かった。」という喜びの声の他、「クルーズ船が係留してある岸壁の水深はどのくらい？」など、敦賀港の施設に関する質問もあり、多くの皆様に楽しみながら港湾整備への理解を深めて頂くことができました。

また、クルーズ船の係留岸壁では歓迎イベントが開催され、平日にもかかわらず約2,500人の市民や観光客が訪れました。クルーズ船乗客は、会場に並んだ福井の名産品販売ブースや若狭塗箸研ぎや化石発掘の体験コーナー、多彩なステージアトラクションなど思い思いに敦賀を楽しんでいました。



港湾業務艇「まつかぜ」でご案内しま



まつかぜ船内から望むクルーズ船。
大きすぎて写真に収まりきらない！

下記URLに、海上見学会の詳細記事、今後のイベントのお知らせなども掲載しますので、ご覧ください。

敦賀港湾事務所HP ↓

<http://www.tsuruga.pa.hrr.mlit.go.jp/>

●金沢港でコンテナ上屋起工式及びガントリークレーン完成式を開催！

(石川県 土木部 港湾課)

4月13日、金沢港のコンテナ貨物の取扱量が増加する中、コンテナ上屋の起工式とガントリークレーン2号機の完成式が同港でそれぞれ行われました。コンテナ上屋はコンテナ貨物の荷役作業の効率化を図るため、無量寺、戸水の両ふ頭に点在しているコンテナ上屋を東部工業用地に集約し、新たな上屋を整備するものです。谷本石川県知事は起工式の式辞で「東京五輪が開催される2020年に金沢港は開港50周年を迎える。日本海側の拠点港として新たな歴史を刻んでいくにふさわしい姿となるよう最善を尽くす」と挨拶しました。ガントリークレーン2号機の完成式では、国や県、金沢市関係者らでテープカットなどを行ったほか、知事がスイッチを入れ稼働状況を見守りました。2号機は1号機と並べて整備され、日本海側最大となる45トンの吊り上げ能力があります。2隻同時接岸、積み降ろしができるほか、海にせり出したリーチ部分が長く、大型船にも対応できます。2019年度までに金沢港の機能強化整備を進め、物流、観光両面から利活用の促進に取り組んでいきます。



杭打ち初めを行う谷本石川県知事



谷本石川県知事の式辞



ガントリークレーン完成式でのテープカット



ガントリークレーンの稼働状況を見守る関係者

●「京都舞鶴港 舞鶴国際ふ頭 機能強化事業 完成記念式典」開催

(近畿地方整備局 舞鶴港湾事務所)

平成30年5月12日（土）、近畿地方整備局及び京都府が、京都舞鶴港において平成25年度から進めていた舞鶴国際ふ頭の機能強化事業の完成を記念して、地元選出国會議員をはじめ、舞鶴市副市長、京都府會議議員、舞鶴市會議議員及び港湾関係者など約200名がご臨席のもと「京都舞鶴港 舞鶴国際ふ頭 機能強化事業 完成記念式典」を舞鶴国際ふ頭で開催しました。

供用式典では、築 和生 国土交通大臣政務官からの式辞で始まり、西脇 隆俊 京都府知事からの式辞、本田 太郎 衆議院議員、竹内 譲 衆議院議員、繁本 護 衆議院議員、森 夏枝 衆議院議員、井上 一徳 衆議院議員、福山 哲郎 参議院議員、村田 正治 京都府會議議長、堤 茂 舞鶴市副市長の皆様から祝辞を頂きました。

その後、舞鶴港湾事務所 安達 昭宏 所長から工事経過報告を行い、「中丹おもてなし隊 絆」による太鼓披露とともに外の会場へ移動、テープカット・くす玉開きが行われました。最後に、多目的クレーンデモンストレーション・バルーンリリースを行い華やかに式典の最後を飾りました。

今回の機能強化事業の完成により、コンテナ船とバルク船（ばら積み貨物船）の2隻同時荷役と大型クルーズ船の接岸が可能となりました。



式辞：築 和生 国土交通大臣政務官



式辞：西脇 隆俊 京都府知事



祝辞：本田 太郎
衆議院議員



祝辞：竹内 譲
衆議院議員



祝辞：繁本 護
衆議院議員



祝辞：森 夏枝
衆議院議員



祝辞：井上 一徳
衆議院議員



祝辞：福山 哲郎
参議院議員



祝辞：村田 正治
京都府議会議長



祝辞：堤 茂
舞鶴市副市長



工事経過報告：安達 昭宏 舞鶴港湾事務所長



「中丹おもてなし隊 絆」による太鼓披露



集合写真

●「みなとオアシス知夫里島」が新たに登録されました

(中国地方整備局 境港湾・空港整備事務所)

平成30年4月21日(土)島根県隠岐郡知夫村^{くりいこう}の来居港^{ちぶりじま}にて、「みなとオアシス知夫里島」登録証交付式を開催しました。「みなとオアシス」は地域住民の交流や観光の振興を通じた地域の活性化に資する「みなと」を核としたまちづくりを促進するため、住民参加による地域振興の取り組みが継続的に行われるものとして、国土交通省港湾局長が登録するものです。

今回、全国で108箇所目(中国地方整備局管内では20箇所目)の「みなとオアシス」として「みなとオアシス知夫里島」が4月21日に登録され、同日に開催された地元の野だいこん祭^{のだいこんまつり}の場で、国土交通省中国地方整備局 水谷副局長より知夫村 平木村長に「みなとオアシス知夫里島」の登録証が手渡されました。平木村長からは、「『みなとオアシス知夫里島』の登録を受けたことは大変喜ばしく、地域活性化を図る上で大きな意義があるものと考えている。村民の皆様方や知夫里島へ来島される皆様方の交流の拠点として環境整備を進め、さらなる地域活性化を図って参る。」と抱負が語られました。登録証交付式後に行われた餅撒きでは、野だいこん祭り参加者約150名も参加し大いに賑わいました。



水谷副局長挨拶



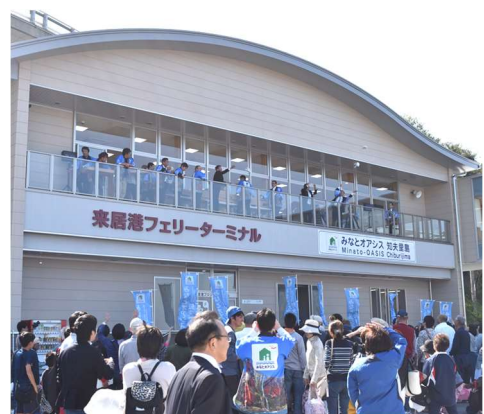
登録証の交付



平木村長登録のお礼



登録証交付後の記念撮影



餅撒きの様子

●ゴミ・油回収合同訓練の実施

(四国地方整備局 小松島港湾・空港整備事務所)

平成30年3月7日（水）、災害時に航路を確保するための支援・受援体制の確認、問題点の抽出を目的とし、当事務所と近畿地方整備局和歌山港湾事務所の海面清掃兼油回収船「みずき」、「海和歌丸」が合同で浮遊物の回収、流木の切断・回収、浮遊油を想定した放水拡散訓練を行いました。

これからも訓練等を通して、他組織連携等を進めて参ります。



流木の回収



浮遊油の放水拡散

●平成29年度手づくり郷土賞の大賞部門を

特定非営利活動法人アクア・チッタと徳島県が受賞

(四国地方整備局 小松島港湾・空港整備事務所)

徳島市万代中央埠頭の活性化の取り組みが評価され、特定非営利活動法人アクア・チッタと徳島県が手づくり郷土賞大賞部門を受賞し、平成30年3月28日に徳島県庁で認定証授与式が行われました。大賞部門は、手づくり郷土賞一般部門を受賞した後、なお一層の活動の充実が行われるなど、継続的に魅力ある地域の実現に寄与している団体を表彰しており、特定非営利活動法人アクア・チッタと徳島県は平成24年度に一般部門を受賞しています。



認定証授与式 1



認定証授与式 2

●徳島小松島港に「マジェスティック・プリンセス」が初寄港

(四国地方整備局 小松島港湾・空港整備事務所)

平成30年4月4日（水）、英国船籍の豪華クルーズ客船「マジェスティック・プリンセス」が、小松島市の徳島小松島港赤石岸壁に初寄港しました。下船した訪日外国人客は、台湾を中心に3千人余り。桜の花見を楽しむなど県内の観光地を巡り、住民からもてなしを受けました。

8月の阿波踊り開催期間には、4日連続でクルーズ船が寄港する予定です。



赤石岸壁に寄港した「マジェスティック・プリンセス」

●下関港新港地区係留施設延伸工事完成報告会を開催しました

(九州地方整備局 下関港湾事務所)

平成30年4月20日（金）に「クァンタム・オブ・ザ・シーズ」の初寄港にあわせて、「下関港新港地区係留施設延伸工事完成報告会」を開催しました。

本報告会は、下関市の長州出島にある下関港国際物流ターミナルを活用しつつ、係留施設を延伸することにより、世界最大級のクルーズ船の受け入れを可能とする工事の完成を記念して行われたものです。

当日は、下関市長や地元議員、港湾関係者など多数皆様に出席を頂きました。テープカットには、将来の下関市を担う地元園児や下関市の激レアマスコット「がんりゅう小次郎くん（写真右）」と「しものせき武蔵くん（写真左）」も参加し、盛大に行われました。

また、報告会后に、「クァンタム・オブ・ザ・シーズ」初寄港歓迎式典も行われ、下関市から船長に対して初寄港の記念品が贈呈され、クルーズによる新たな交流の開始を祝福しました。



●「石垣港新港地区旅客船ターミナル暫定供用」

(内閣府沖縄総合事務局 石垣港湾事務所)

平成 30 年 4 月 21 日（土）、国内でも有数のクルーズ寄港地となった石垣港にて、福井内閣府沖縄担当大臣や高橋国土交通大臣政務官ほか、多くの関係者ご参列のもと旅客船ターミナル暫定供用式典が開催されました。

今回の暫定供用により、7 万トン級までのクルーズ船が接岸可能となり、これまで貨客混在により生じていた貨物船との利用調整が解消され、荷役作業の効率化と旅客の安全性が向上します。



福井照 内閣府沖縄担当大臣らによるテープカット

●「漲水地区複合一貫輸送ターミナル」にクルーズ船初寄港

(内閣府沖縄総合事務局 平良港湾事務所)

平成30年4月30(月)、スーパースタージェミナイ(50,764トン)が平良港漲水地区複合一貫輸送ターミナル(以下、漲水ふ頭)に初寄港しました。

昨年12月16日の暫定供用以来、初のクルーズ船の接岸となり、春の大型連休中の晴れ空のもと、厦門からの乗客1,700名を乗せたスーパースタージェミナイが早朝7時に入港し、観光バス約40台で宮古島の観光地へと出発しました。

漲水ふ頭は、市街地から近いという高い利便性を活かして、今後もクルーズ船受入れを促進していきます。



平良港漲水地区複合一貫輸送ターミナルに接岸するスーパースタージェミナイ

*:

3 お知らせ

*:

◇第23回うまいカ 干しイカ イカまつり

【開催日時】 平成30年6月17日(日) 午前9:15～ (予定)

【場 所】 山形県鼠ヶ関漁港 ※弁天島・マリンパークねずがせき付近

【概 要】 新鮮な生イカの販売のほか、イカのトンビ飛ばし世界大会、お楽しみ抽選会など。

【問合せ先】 あつみ観光協会(電話：0235-43-3547)

【U R L】 ※5月下旬頃アップ予定



うまいカ 干しイカ イカまつり (昨年の様子)

◇温海モリウミ体験フェス2018

【開催日時】 平成30年6月17日(日) 午前10:00～ (予定)

【場 所】 山形県鼠ヶ関港マリンパークねずがせき

【概 要】 シーカヤック&ウミのネイチャリング体験など。

【問合せ先】 NP0法人 自然体験温海コーディネット

(あつみ観光協会内 電話：0235-64-1197 <平日 9:00～16:00>)

【U R L】 ※5月末頃アップ予定



モリウミ体験 (昨年の様子)

【開催日時】 平成30年7月14日(土)～7月15日(日)

【場 所】 徳島小松島港（小松島港区）他

【概 要】 小松島市恒例の夏のイベントで阿波踊りや納涼花火大会の他、協賛行事として

四 国地方整備局所属の海面清掃兼油回収船「みずき」の一般公開や港湾業務艇に

よ るみなと見学会等、様々なイベントが徳島小松島港周辺で開催されます。

【主 催】 小松島港まつり運営委員会

【問合せ先】 四国地方整備局 小松島港湾・空港整備事務所 企画調整課

電話：0885-32-3357

[illegible]